

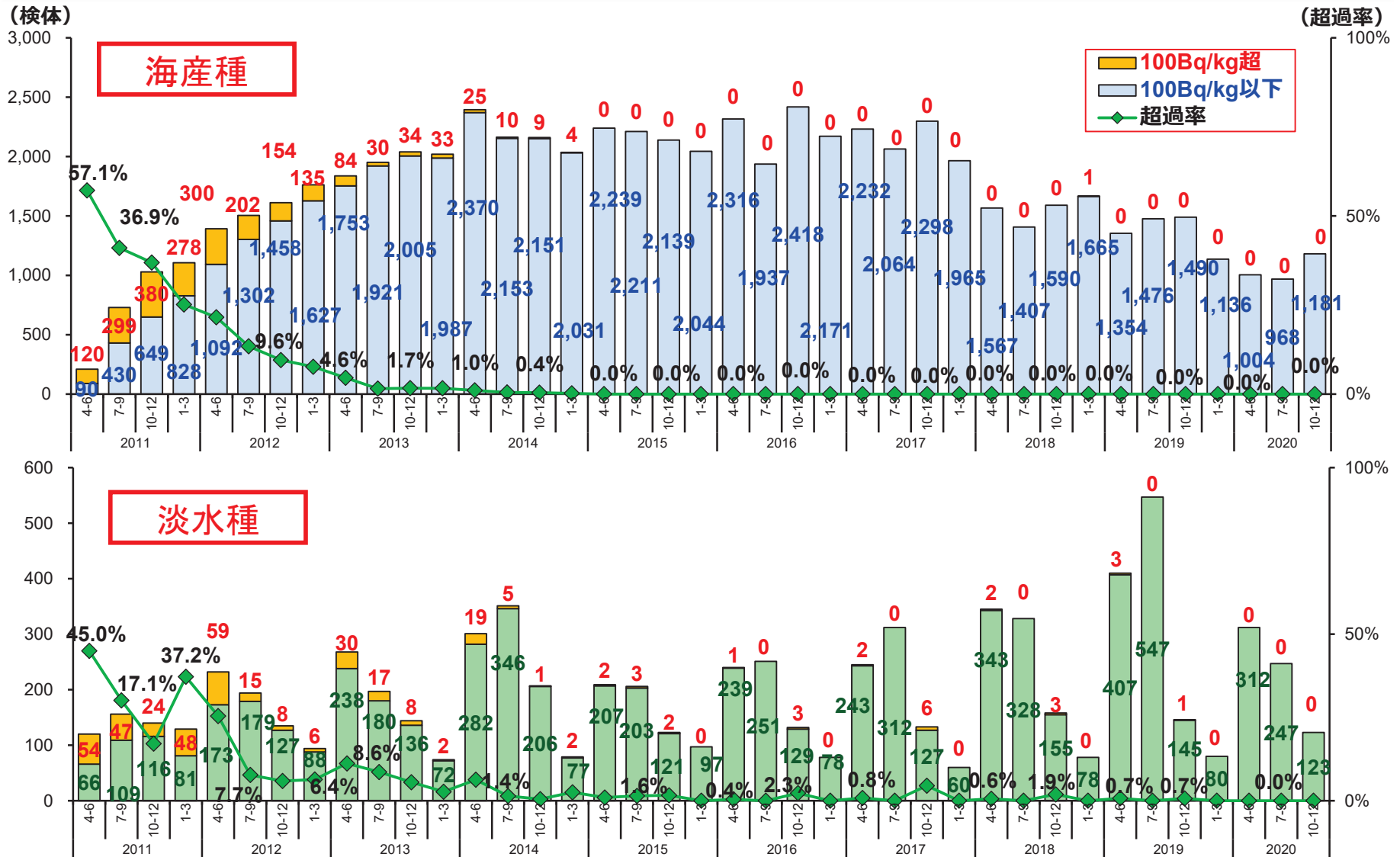
水産物の調査の考え方

- 「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」に基づき、週1回程度検査
 - ・50Bq/kgを超えたことのある魚種や主要水産物を中心に調査
 - ・近隣県の調査結果を参考

沿岸性魚種等 (例：コウナゴ、スズキ、カレイ等)	水揚げや漁業管理の実態、漁期等を考慮し、県沖を区域に分け、主要水揚港で検体採取。
回遊性魚種 (例：カツオ、イワシ・サバ類、サンマ類)	回遊の状況等を考慮して、漁場を千葉県から青森県の各県沖で区分（県境の正東線で区分）し、区域ごとの主要水揚港で検体採取。
内水面魚種 (例：ヤマメ・ワカサギ・アユ等)	漁業権の範囲等を考慮して県域を適切な区域に分け、主要区域で検体採取。

水産物

水産物の検査結果（福島県海産種・淡水種）

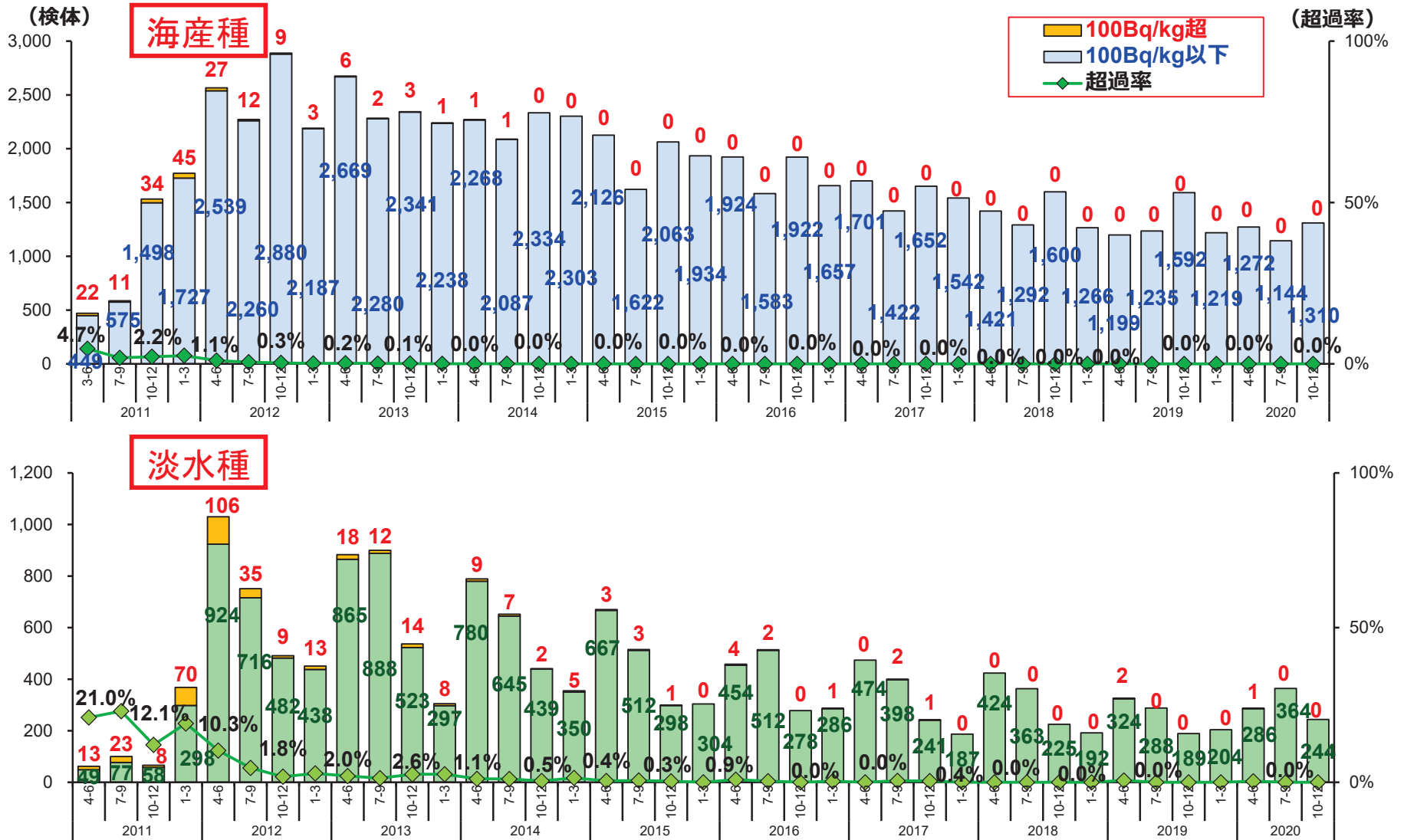


2011年3月24日から2020年12月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

農林水産省

水産物

水産物の検査結果（福島県外海産種・淡水種）



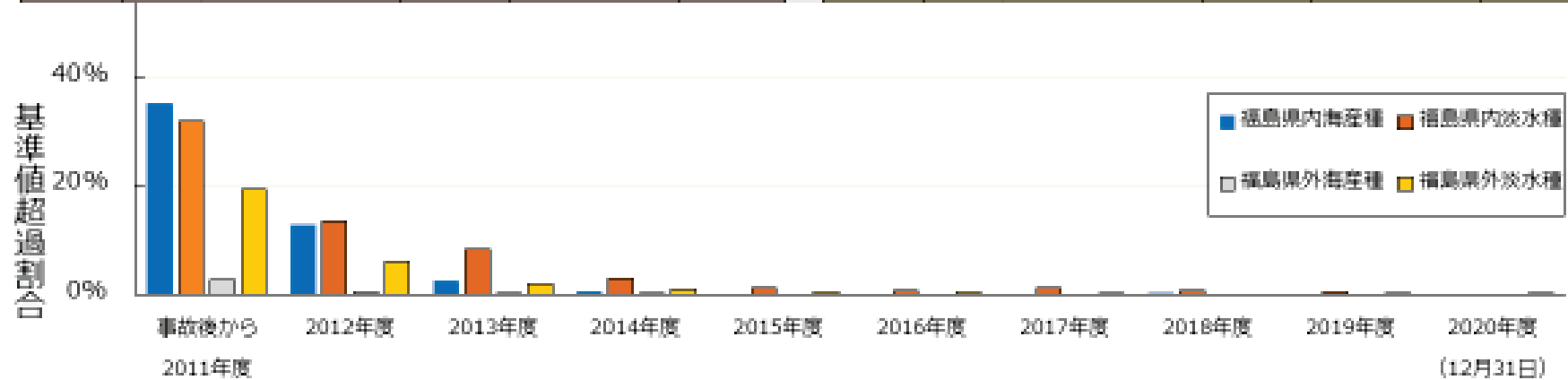
2011年3月24日から2020年12月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

農林水産省

水産物

水産物の検査結果の推移

	検査期間					検査期間			
	検査点数	基準値超過点数	超過割合	検査点数		基準値超過点数	超過割合		
福島県内 海産種	事故後から2011年度	3,074	1,077	35.0%	福島県外 海産種	事故後から2011年度	4,361	112	2.6%
	2012年度	6,270	791	12.6%		2012年度	9,917	51	0.5%
	2013年度	7,847	181	2.3%		2013年度	9,540	12	0.1%
	2014年度	8,753	48	0.5%		2014年度	8,994	2	0.02%
	2015年度	8,633	0	0%		2015年度	7,745	0	0%
	2016年度	8,842	0	0%		2016年度	7,086	0	0%
	2017年度	8,559	0	0%		2017年度	6,317	0	0%
	2018年度	6,230	1	0.02%		2018年度	5,579	0	0%
	2019年度	5,456	0	0%		2019年度	5,245	0	0%
	2020年度(12月31日まで)	3,153	0	0%		2020年度(12月31日まで)	3,726	0	0%
福島県内 淡水種	事故後から2011年度	545	173	31.7%	福島県外 淡水種	事故後から2011年度	596	114	19.1%
	2012年度	655	88	13.4%		2012年度	2,723	163	6.0%
	2013年度	693	57	8.3%		2013年度	2,625	52	2.0%
	2014年度	938	27	2.9%		2014年度	2,337	23	1.0%
	2015年度	635	7	1.1%		2015年度	1,788	7	0.4%
	2016年度	701	4	0.6%		2016年度	1,537	7	0.5%
	2017年度	750	8	1.1%		2017年度	1,303	3	0.2%
	2018年度	909	5	0.6%		2018年度	1,204	0	0%
	2019年度	1,183	4	0.3%		2019年度	1,007	2	0.2%
	2020年度(12月31日まで)	682	0	0%		2020年度(12月31日まで)	894	1	0.1%



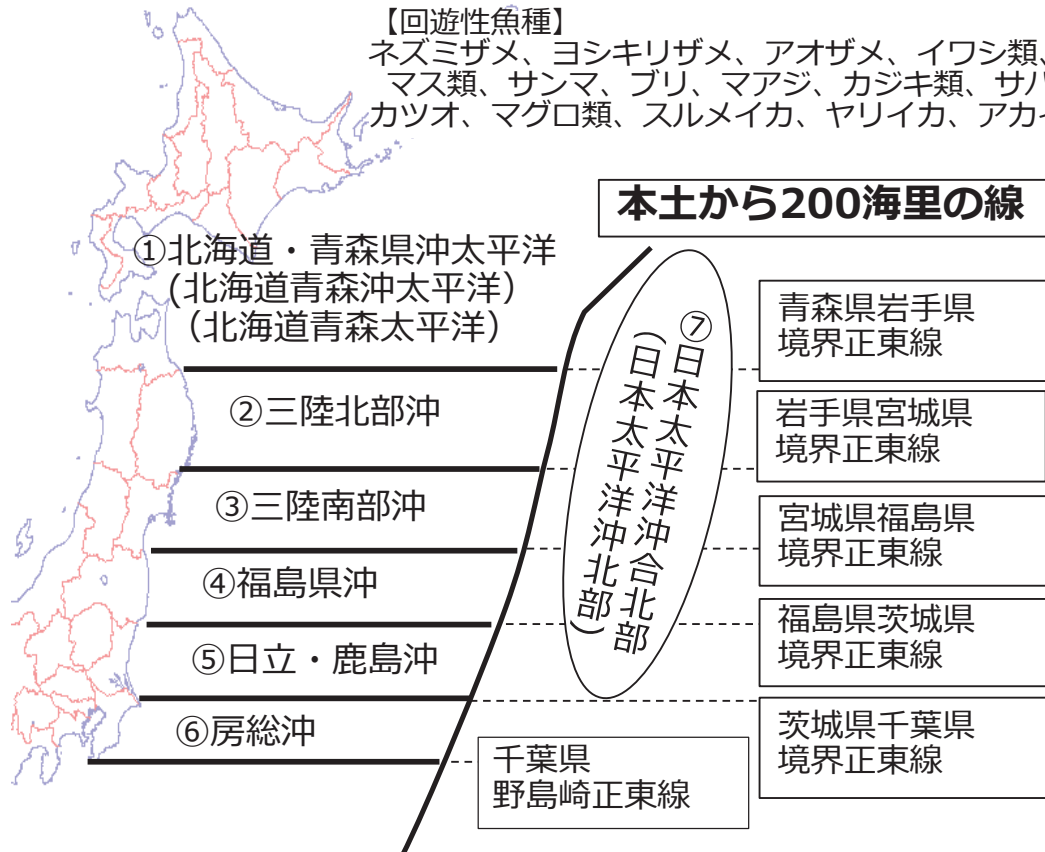
※検査結果の集計対象は、全国。

2011年3月24日から2020年12月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

消費者への原産地情報の提供

○2011年10月から、東日本太平洋側で漁獲された生鮮水産物を中心に、生産水域の区画及び水域名を明確化し、原産地表示を推奨。

回遊性魚種の水域区分図



表示の例

